用意するもの

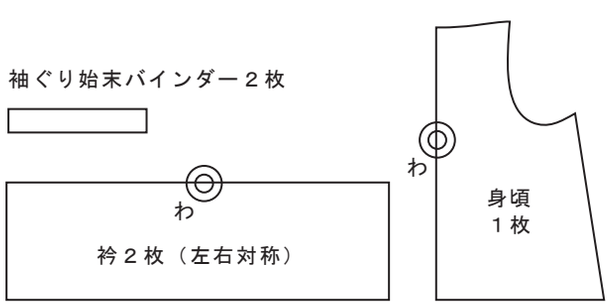
●ニット生地
パターンが比較的コンパクトのため、衿にボリュームが出るよう、中肉以上の天竺～柔らかい厚手が合います。

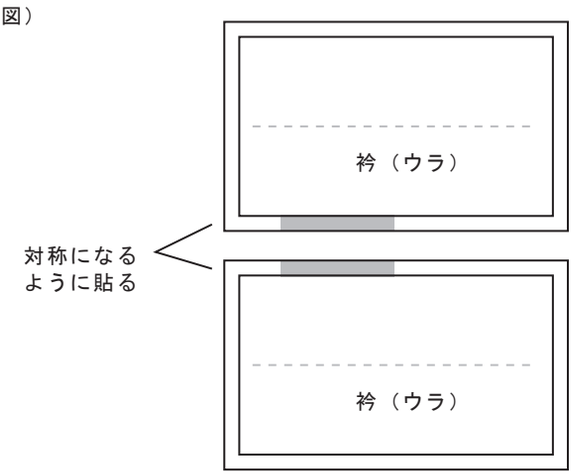
140cm 巾　1,5m

●のびどめテープ（10mm 巾）
60cm

準備

●裁断パーツ３・合計５枚（下図）
●衿のウラ面、アームホール部分に、のびどめテープを貼る（右図）

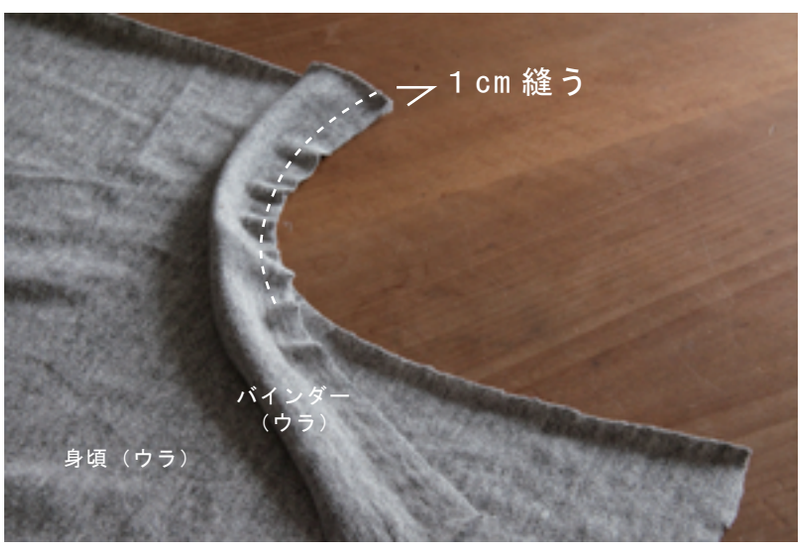




芯貼り

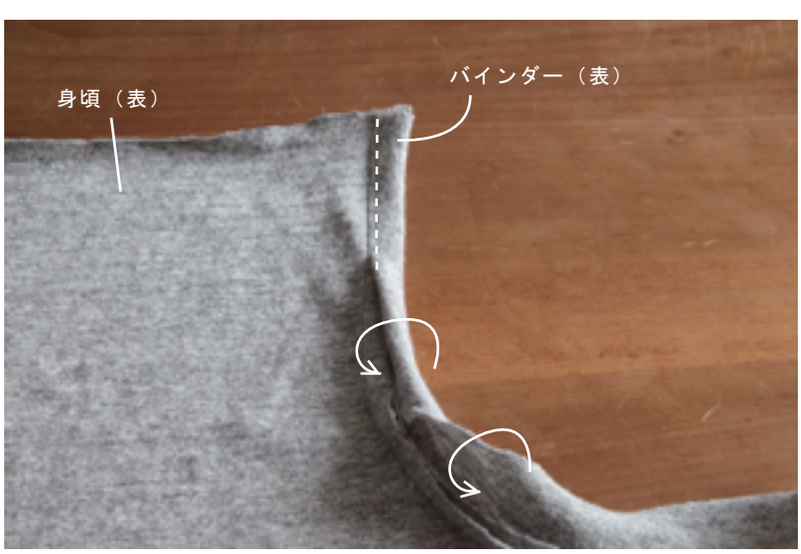
２枚の衿の裏側、指定の部分に、対称になるようにのびどめテープを貼ります。

バインダー



身頃（ウラ）のアームホールに沿って、バインダー（ウラ）を乗せて、１cm で縫います。

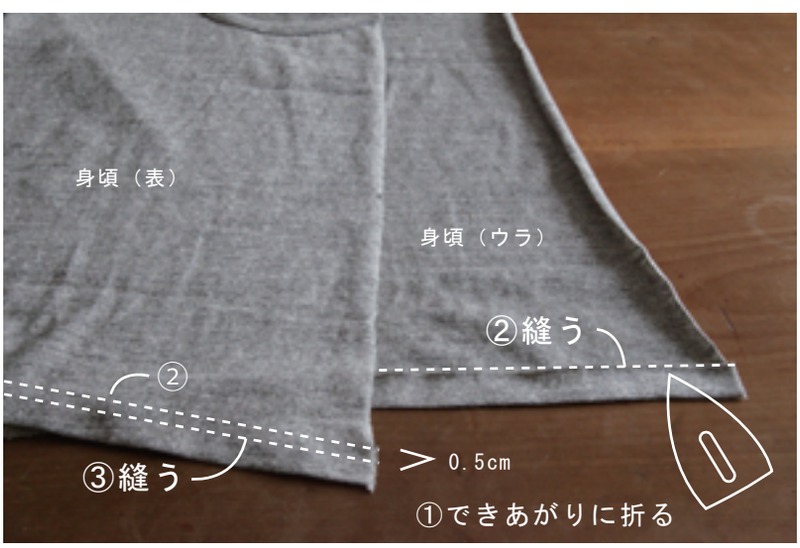
※　中表ではないので注意



バインダーでアームホールを包みながら、ステッチで押さえます。

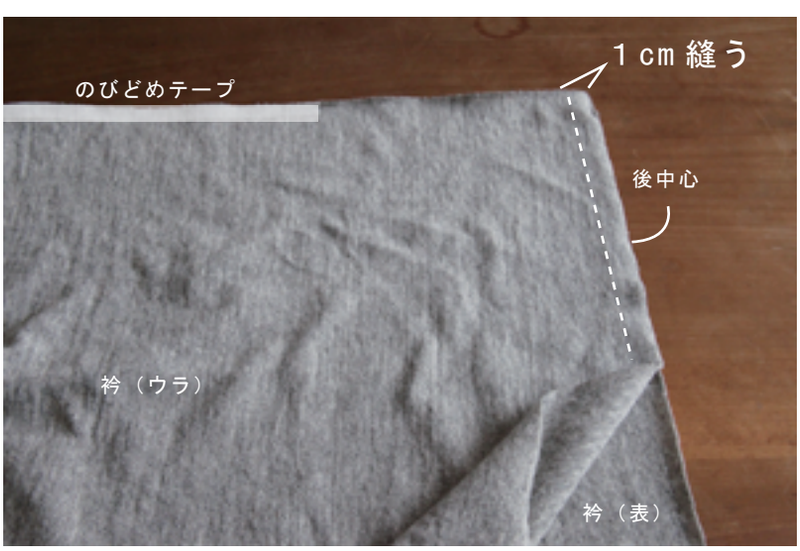
裾始末

裾を、生地の表側からロック始末します。

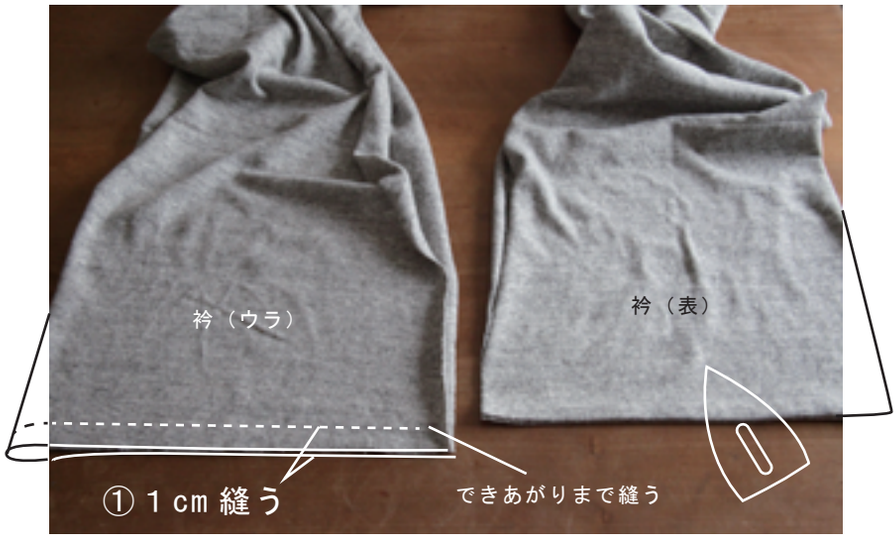


アイロンでできあがりに折り、１本目のステッチは裏側から、ロックの糸を拾うようにしてかけます。２本目は生地の表側から、１本目の下 0.5cm 平行にステッチします。

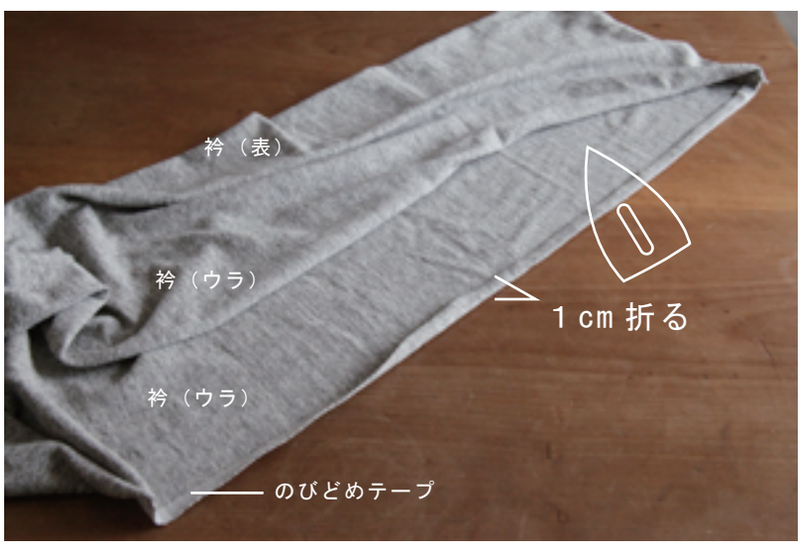
衿



衿を２枚、後中心側で中表に合わせて、１cm で上から下まで縫い合わせます。
縫い代は割ります。



衿の裾側を中表に折り、1 cm で縫います。端まで縫わずできあがりでとめます。表に返してアイロンで整えます。両側とも同じように作ります。

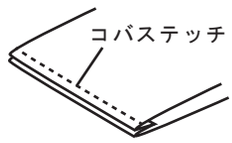


衿を開いて、のびどめテープが貼ってある側の縫い代を 1 cm 端から端まで折っておきます。

衿つけ

衿の、折り上げていない側のウラ面を、身頃のウラ面に乗せ、左右の脇と後肩をそれぞれ縫い合わせます。

※　中表ではないので注意



身頃との中縫いがない場所は、
突き合わせてコバステッチに
なります。

衿をできあがりに被せて、左右の脇、後肩をそれぞれコバステッチでとめて完成です。